

(様式6-1)事後評価シート

番号	11	事業名	県営かんがい排水事業		市町村名	飯綱町		路河川名	芋川用水他用水4路線	箇所名(ふりがな)	三水(さみず)			
事業計画時の課題・背景及び事業経緯	<p>旧三水村の村名の由来になっている芋川、倉井、普光寺の三用水のほか、日影、曾峰の各用水は旧村全域に農業用水を送る地域農業を支える生命線であるとともに、流域集落の防火用水としての機能を持つ基幹水路である。また、自然環境に恵まれており、一部区間はホテルの生息地となっている。</p> <p>各用水は、これまでも改修を行ってきたが、未だ土水路の未改修区間が多いため漏水が著しく、下流域まで必要な水量が行き届かず農業生産に支障をきたしている。また、多くの区間が山腹水路であるため土砂崩落が頻発し、通水不能や堰止められた水が溢れ周辺に被害を及ぼすなど維持管理には多大な苦勞を強いられていた。</p> <p>このような状況を解消するため、本事業を導入し水路改修を実施したものである。事業推進にあたっては各用水管理組合や飯綱町、信濃町と連携を図り、ホテル生息区間では有識者やホテル保護団体を交えて工法検討、地域住民、小学生の参加を得ての保護活動を行うなどの協働活動により改修を実施した。</p>								②事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)	評価	B		
	<p>旧三水村内のほぼ全域の水田約614haを潤している芋川、倉井、普光寺、日影、曾峰の5つの基幹水路について、L=11,290mの土水路の改修を行い、農業用水の安定確保と維持管理の効率化を図るものである。</p> <p>また、併せて自然環境の保全を図るため、ホテルの生息が確認されている区間については生態系に配慮した工法を取り入れ、改修を行うものである。</p>								③施設の維持管理状況	施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切)	評価	A		
事業概要	当初工期	H11~H17	費用対効果(当初時)	1.1	事業費(千円)	財源内訳(千円)				④地域住民等の評価	地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)	評価	A	
	最終工期	H11~H21	費用対効果(評価時)	1.1	上段:当初/下段:最終	国庫	その他	県債	一般財源					
	当初計画内容(主な工種)	環境配慮水路 L=1500m RC水路 L=9,800m		1,850,000	925,000	462,500	-	462,500	<p>○安定した水量が確保され、水管理が容易になった。</p> <p>○毎年、の堰ざらいは、効率よく人数を割り振っても1日がかりの苦勞な仕事であったが、事業後は朝2時間程度で終了してしまうほど様変わりしている。</p> <p>○ホテル水路はコンクリート水路ではないため維持管理が大変だが、住民協働による管理ができています。</p>					
	最終事業実績(主な工種)	環境配慮水路 L=1300m RC水路 L=9,990m		1,673,200	836,600	418,300	-	418,300	<p>○事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況(A:貢献度が高い B:貢献している C:特になし)</p> <p>○安定した水量確保により防火用水など地域用水機能が増進され、安心・安全な生活環境に寄与している。</p> <p>○芋川用水の取水地点からのホテル水路区間は、有数のホテル観察スポットとなっているため町内外から多くの人が訪れている。</p> <p>○工事に際したホテルをはじめとする「水生生物の引越し」学習会は、小学生、父兄などの学校関係者、用水管理者、野尻湖ウマゾン博物館などの関係者が参加して平成12~21年度までほぼ毎年行われ、地域資源の再認識や学習教育の場となった。</p>					
事業期間の延長、短縮理由と分析	<p>事業期間は、当初計画に対し4年間延長している。</p> <p>これは、環境配慮水路の施工にあたって用水関係者や有識者と協議を重ねる中で合意形成を図ってきたことによるものである。</p>								⑤事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況				A	
事業費(予算)の増加、縮減理由と分析	<p>事業費は、当初計画に対し176,800千円縮減している。</p> <p>これは、コストの縮減を図りつつ事業を実施したことと、入札差金によるものである。</p>								改善措置の必要性	なし				
①事業効果の発現状況	事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成 D:達成したとはいえない)								評価					
	直接的効果(定量的・定性的)	<p>○改修で漏水防止が図られたことで末端まで水が行き届くようになり、用水不足が解消された。</p> <p>○水管理のためのゲートを設置したことで、各水路への適正な用水の配分により節水と効率的な水利用が可能となった。</p> <p>○漏水や土砂崩落による溢れ水、法面崩壊等の被害リスクが軽減し、災害防止に繋がっている。</p>								A	今後の取り組み及び同種事業への活用と課題	<p>本事業により、三水地域の基幹水路の改修はほぼ完了した。今後は、本事業以前に整備した箇所の老朽化が進行しているため機能診断を実施し、適期に補修を行い、施設の長寿命化対策等によるライフサイクルコストの低減を図る必要がある。</p> <p>長野県においては本地区と同様に山腹水路が多いため、整備されていない水路、老朽化した水路においては、安定的な用水確保と災害防止の面から適切な維持管理が不可欠となっていることから、適期に改修を行うなど効率的に保全していく必要がある。</p>		
	間接的効果(定量的・定性的)	<p>○見回りや補修などの維持管理労力が大幅に軽減され、営農作業や地域活動に充てる時間が生まれた。</p> <p>○生態系に配慮した改修にあたっては、有識者、住民、小学生参加によるホテル保護活動を行い、地元住民が地域資源を再認識するきっかけとなり、学習教育の場ともなった。</p>								部意見		<p>事業実施前は土水路の未整備区間も多々あり、漏水による用水の安定的な確保や災害発生について懸念があり、維持管理にも多大な労力を必要としていたが、事業投入によりコンクリート水路として整備され、多くの営農に伴う課題解決につながった。</p> <p>また、安定的な流量が確保されたことで、下流域における地域用水機能(防火用水、消雪用水等)が増進された。</p> <p>一部区間については、環境に配慮したホテル水路を整備し、地域資源の再認識や、学習教育の場としても機能している。</p> <p>以上により、事業の目的は十分に達成されたと考える。</p>		
行政改革課意見	農業用水の安定供給と災害の未然防止が図られ、事業の目的を達成している。													